

中学校第1学年 国語科学習指導案

単元名：文章の要旨を捉え、いろいろな人に紹介しよう

指導者：世羅町立甲山中学校 松本 好弘

- 日 時 平成27年7月14日（火） 第2校時（9：40～10：30）
- 学年・学級 第1学年B組（男子16人 女子7人 計23人）
- 学 習 材 高槻成紀「オオカミを見る目」（『新編 新しい国語1』東京書籍株式会社）

1 単元観

本単元は、中学校学習指導要領国語（平成20年）の第1学年「C 読むこと」の指導事項「イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。」を受けて、目的や必要に応じて要旨を捉える力を育てることをねらいとして設定する。

この「目的や必要に応じて要旨を捉える力」とは、課題解決を目指し、文章全体を大まかにつかんだり分析的に捉えたりしながら、筆者の考えの中心を捉える力のことであり、国語科の学習にとどまることなく、各教科などの学習や日常生活・社会生活における多様な課題解決の中で、情報を正確に理解するために必要なものである。また、生徒の主体的な学びを促す「課題発見・解決学習」の中では、「図書から情報を取り出す」「新聞を読んで考える」などの活動がますます行われるようになってきており、要旨を捉える力はその土台の一つとなる力として、確かな定着と向上が求められている。

学習材「オオカミを見る目」は、日本と西洋、今と昔におけるオオカミの見方の違いを対比的に示しながら、筆者の主張が述べられている。また、指示語や接続の表現が的確に用いられ、問い・答え・筆者の主張という分かりやすい論理展開になっている。これらのことから、中学校第1学年において、文章の構成や展開を踏まえて要旨を捉える学習をする上でふさわしい学習材であると考えられる。

2 生徒観

平成26年度「基礎・基本」定着状況調査中学校国語における「要旨の把握」に関する設問（四3）の県平均通過率は41.3%（本校67.4%）と、これは全設問中で最も低い値であり、本県及び本校の課題といえる。

この設問を一部改題して実施したプレテストでは、文章から大切な情報を正しく選択できた生徒は22.7%だった。この誤答を分析すると、「キーワードが書かれた段落の中の語句」や「設問で求められているレベルと異なる語句」を解答する傾向が見られた。これは、文章の中でキーワードが書かれているような特定の狭い部分にしか注目しないで読んでいたり、文章全体から大切な情報の選択や相互の関係付けが十分できていなかったりしたためと考えられる。

以上のことから、要旨を捉える上で、文章全体を俯瞰しながら大まかにつかむこと、目的や必要に応じて広い範囲から大切な情報を選択し、相互を関係付けながら整理することに課題があるといえる。

3 指導観

指導に当たっては、先述の課題を踏まえ、「目的や必要に応じて要旨を捉える力」を育てるために、次の2点を工夫する。

1点目は、「文章をマップ化する」ことである。文章からキーセンテンスを抜き出して書き、中心概念となる情報であるキーワードを付箋紙で整理させる。また、指示語や接続の表現も書き込み、全体の中の役割や関係性を大まかに把握させる。このようにすることで、文章全体を俯瞰的に捉え、そのなか

ら大切な情報を見付け出すことができると考える。

2点目は、「目的に応じて文章を自分の言葉で再構成する」ことである。第4時で作成する〈要旨文〉（筆者の考えの中心となる情報を、ほぼ筆者の用いている言葉や表現、順序のとおりに文章化したもの）を基に、要旨を伝える相手の理解度、設定された文章の形態などを踏まえながら、順序の入れ替え、表現の言い換え、敷衍（詳しい説明）、例示の追加などをしてまとめ直させる（本案では、これを《再構成文》とする。）。その際、自分の言葉で再構成したゴールイメージをもたせるために、既習の文章による《再構成文》のモデルを提示して、その特徴に気付かせる。また、まとめ直した《再構成文》を生徒相互で交流させ、どのような情報が必要なのか、どのような表現が適切なのかを吟味させる。このようにすることで、文章全体を再度読み直し、情報を相互に関連付けていくことができると考える。

4 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- 筆者の考えの中心を捉えながら、文章を読もうとすることができる。〔関心・意欲・態度〕
- 文章全体の構成や内容を大まかにつかみ、目的や必要に応じて大切な情報を選択・整理し、要旨を的確に捉えることができる。〔読むこと〕
- 指示語や接続の表現に注意して読むことができる。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

(2) 単元の評価規準

() 内は該当する指導事項等の記号

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①文章を紹介するために、筆者の考えの中心を捉えながら、文章を読もうとしている。	①文章全体の構成や内容を大まかにつかんでいる。(C(1)イ) ②目的や必要に応じて大切な情報を選択・整理し、要旨を的確に捉えている。(C(1)イ)	①指示語や接続の表現に注意して読んでいる。(伝国(1)イ(エ))

5 単元を通して課題解決を目指す言語活動

単元を通して課題解決を目指す言語活動として、「目的に応じて文章を自分の言葉で再構成して、リーフレットや壁新聞で紹介する」ことを設定する。

この言語活動は、学習者に元の文章を丁寧に読み返す必然性を生じさせ、文章全体の広い範囲から大切な情報を選択し、相手の理解度や文章の形態などに合わせて表現などを整理するものであり、目的や必要に応じて要旨を捉える力を育成することに有効であると考えられる。

具体的には、1グループ（4～5人）内を、**A**小学3年生に紹介する（リーフレット）と、**B**保護者に紹介する（壁新聞）の二つの目的別の小グループに分けて《再構成文》を書き、交流する。異なる理解度の相手や文章の形態を意図的に設定し、目的や必要に応じた《再構成文》を比較することで、その特徴が明確となる。

6 指導と評価の計画

全8時間（本時は7/8）

次	時	学習内容	評価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	言語活動の見通しをもち、全文を通読する。	○			・言語活動の見通しをもち、文章の内容を捉えようとしている。	振り返りカードの記述
二	2 3	全体の構成や内容を大まかにつかむために、文章をマップ化する。		◎		・文章全体の構成や内容を大まかにつかんでいる。 ・指示語や接続の表現に注意して	マップの記述

					読んでいる。	
	4	筆者の考えの中心となる大切な情報を選択・整理して〈要旨文〉を書く。		◎	・筆者の考えの中心となる大切な情報を適切に選択・整理し、〈要旨文〉を書いている。	〈要旨文〉の記述
	5 6 7	文章を紹介するために、相手や文章の形態に応じて自分の言葉で《再構成文》を書く。【本時】 A 小学3年生（リーフレット） B 保護者（壁新聞）		◎	・〈要旨文〉を基に、相手の理解度や文章の形態などに応じて大切な情報を的確に選択・整理し、《再構成文》を書いている。	《再構成文》の記述
三	8	《再構成文》を交流し、目的別の表現の違いや意図を理解する。	◎	○	・文章を紹介するために、筆者の考えの中心を捉えながら、文章を読もうとしている。 ・《再構成文》に取り入れた情報や文章の構成、表現に、どのような違いがあるかを把握し、もとの文章の要旨をどのように捉えたかを理解している。	振り返りカードの記述 交流シートの記述

7 本時の展開（第7時）

（1）本時の目標

《再構成文》の「良い点」「改善が必要な点」に気付き、相手の理解度や文章の形態などに応じて的確に修正することができる。

（2）観点別評価規準

相手の理解度や文章の形態などに応じて大切な情報を的確に選択・整理し、《再構成文》を書いている。 [読む能力]

（3）学習の展開（第7時／全8時間）

学習活動	指導上の留意事項（◇） ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 （評価方法）
1 前時の学習と本時の目標を確認する。（5分）		
(1)前時の学習を振り返る。 (2)本時の目標を確認する。	◇前時まで作成した《再構成文》案を確認する。	
【めあて】文章を練り上げ、よりよい《再構成文》を完成させよう。		
2 《再構成文》案の「良い点」と「改善が必要な点」を交流する。（15分）		
(3)文案の「良い点」と「改善が必要な点」を交流する。	◇前時（第6時後半）でグループ内の目的別《再構成文》を読み合い、気付きをまとめさせておく。 〔 A 小学3年生向け リーフレット用文章 B 保護者向け 壁新聞用文章 〕 ◇「交流の視点」を確認し、それを基にグループごとに気付き（改善策を含む）を発表させる。	

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="533 165 608 421">「交流の視点」</td> <td data-bbox="608 165 1166 421"> <ul style="list-style-type: none"> *意味の通る文章になっているか。 *漢字，言葉や表現の誤用はないか。 *元の文章との要旨のズレはないか。 *相手や文章の形態に即した表現になっているか。（文章に入れる情報，分量，言葉や表現のレベル，順序，例示など） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="533 421 608 898">予想される気付き</td> <td data-bbox="608 421 1166 898"> <p>「良い点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最初にまとめが短く書かれていて，とても分かりやすい。 ○キーワードをうまく使った見出しで，読む人を引き付けることができる。 <p>「改善が必要な点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲「□□□」という表現は，小学3年生には分かりにくい。例えば，「■■■■」はどうだろうか。 ▲「・・・」について，言葉を足して，もう少し詳しい説明を付け加えた方がよい。 </td> </tr> </table> <p>◇「改善が必要な点」は文案に赤字で書き込ませる。 ◆修正に向けて，各グループの「良い点」を黒板に提示して参考にさせたり，個別にどのような修正の仕方があるかなどを助言したりする。</p>	「交流の視点」	<ul style="list-style-type: none"> *意味の通る文章になっているか。 *漢字，言葉や表現の誤用はないか。 *元の文章との要旨のズレはないか。 *相手や文章の形態に即した表現になっているか。（文章に入れる情報，分量，言葉や表現のレベル，順序，例示など） 	予想される気付き	<p>「良い点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最初にまとめが短く書かれていて，とても分かりやすい。 ○キーワードをうまく使った見出しで，読む人を引き付けることができる。 <p>「改善が必要な点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲「□□□」という表現は，小学3年生には分かりにくい。例えば，「■■■■」はどうだろうか。 ▲「・・・」について，言葉を足して，もう少し詳しい説明を付け加えた方がよい。 	
「交流の視点」	<ul style="list-style-type: none"> *意味の通る文章になっているか。 *漢字，言葉や表現の誤用はないか。 *元の文章との要旨のズレはないか。 *相手や文章の形態に即した表現になっているか。（文章に入れる情報，分量，言葉や表現のレベル，順序，例示など） 					
予想される気付き	<p>「良い点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最初にまとめが短く書かれていて，とても分かりやすい。 ○キーワードをうまく使った見出しで，読む人を引き付けることができる。 <p>「改善が必要な点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲「□□□」という表現は，小学3年生には分かりにくい。例えば，「■■■■」はどうだろうか。 ▲「・・・」について，言葉を足して，もう少し詳しい説明を付け加えた方がよい。 					
3 交流を踏まえ，《再構成文》を修正する。(25分)						
<p>(4)交流を踏まえ，《再構成文》を修正する。</p>	<p>◇交流を踏まえ，グループ内のペアで文案を修正させる。その際，目的に応じて《再構成文》に入れる情報が十分なものかどうかを考えながら，適宜，元の文章（学習材本文）を読み直させる。</p> <p>◇相手や文章の形態に即した，的確な情報の整理となっているのか十分吟味させる。</p> <p>◆黒板に提示した各グループの「良い点」を参考に促したり，《再構成文》に活用できる言葉や表現などを指摘したりするなど，課題解決につながるように助言する。</p>	<p>・相手の理解度や文章の形態などに応じて大切な情報を的確に選択・整理し，《再構成文》を書いている。(再構成文)</p>				
4 本時の学習を振り返り，次時の課題をつかむ。(5分)						
<p>(5)本時の振り返りを記入する。</p> <p>(6)次時の課題をつかむ。</p>	<p>◇《再構成文》清書を学級全体で交流し，目的別の《再構成文》の特徴をまとめる。</p>					

8 ワークシート

□ 交流シート

(年) (組) (番) 氏名 ()	《再構成文》の特徴 【評価】◎とても良い ○良い ●もう一歩！			《要旨》との違い		
	[書き手の意図]	[自分の気付き]	【評価】	文章の長さ		
	[書き手の意図]	[自分の気付き]	【評価】	構成・順序		
	[書き手の意図]	[自分の気付き]	【評価】	言葉や表現		
	[書き手の意図]	[自分の気付き]	【評価】	文章の長さ		
	[書き手の意図]	[自分の気付き]	【評価】	構成・順序		
	[書き手の意図]	[自分の気付き]	【評価】	言葉や表現		

A 小学生向けのリーフレット

B 保護者向けの離新聞

国語一年ワークシート「いろいろな人に文章を紹介しよう」④ 〈交流を通して、要旨の捉え方を広げよう〉

□ 《要旨文》と《再構成文》 **A**・**B**との違い、特徴を整理しよう。「交流シート」

□ 《再構成文》モデルA（小学生向けリーフレット）

<p>(500字)</p>	<p style="text-align: right;">高槻成紀「オオカミを見る目」 《A小学生向けリーフレット》作成例</p> <p>私たちが国語の授業で学んだ、高槻成紀さんの「オオカミを見る目」という文章をまとめたので紹介します。</p> <p>皆さんは、「オオカミ」と聞いて、どのようなイメージをもっていますか。童話「赤ずきん」に出てくるオオカミを思い出して、ずるがしこくて悪い動物だと感じる人もいるかもしれません。</p> <p>実は、オオカミに対する人々の見方は、世の中の状況によって、ちがったり、変わったたりしているのです。</p> <p>ヨーロッパでは、生活の支えとなるヒツジをおそって殺してしまうオオカミは、キリスト教の影響もあり、人々から残こくで悪い動物だと思われ、にくまれていました。日本では、毎日のように食べるイネを食いあらずイノシシやシカを殺してくれるオオカミは、自分たちの味方と考え、しだいに神のように大切にされるようになりました。しかし、今の日本人は、オオカミを神のように大切にはしていません。それは、江戸時代の狂犬病の流行、明治時代のオオカミを悪者にした童話などにより、イメージが悪化したことが原因だと考えられています。</p> <p>こうしたオオカミの例は、野生動物に対する考え方が、そのときどきの社会の強い影響を受けていることをよく示しています。</p> <p>このように、人の考えや行動は、世の中の状況によって、ちがったり、変わったたりするものだと、心にしっかり刻んでおいてください。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>(オオカミの写真)</p> </div>
---------------	--

□ 《再構成文》モデルB（保護者向け壁新聞）

<p>(375字 (題字を除く))</p>	<p style="text-align: right;">高槻成紀「オオカミを見る目」 《B保護者向け壁新聞》作成例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>人の考えや行いは、置かれた社会の状況によって異なりもするし、また変化もする。――著書「オオカミを見る目」の中で生態学者の高槻成紀氏はこう述べている。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <h1 style="writing-mode: vertical-rl; background-color: black; color: white; padding: 10px;">オオカミは悪者か</h1> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">社会の状況がもの見方に影響を与える</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>(オオカミの写真)</p> <p>高槻成紀著 「オオカミを見る目」</p> </div>
	<p>ヨーロッパでは、羊を軸にした牧畜を基盤とし、キリスト教の影響が強かったために、羊を襲うオオカミは悪魔のように見なされていた。一方、米を軸にした農業を営んでいた日本では、稲を食べる草食獣を殺してくれるオオカミは神として敬われていた。</p> <p>しかし、日本では、江戸時代の狂犬病の流行や明治時代のオオカミを悪者にした童話の普及などの影響などにより、イメージは悪化し、一九〇五年（明治三八）頃に絶滅したといわれている。</p> <p>こうしたオオカミの例は、野生動物に対する考え方が、その社会によっていかに強い影響を受けるかをよく示している。高槻氏は述べている。</p> <p>社会がいかに変化しようとも、私たちの「ものを見る目」はいつも研ぎ澄ませておきたい。</p> <p>（〇〇中学校 □□□□）</p>